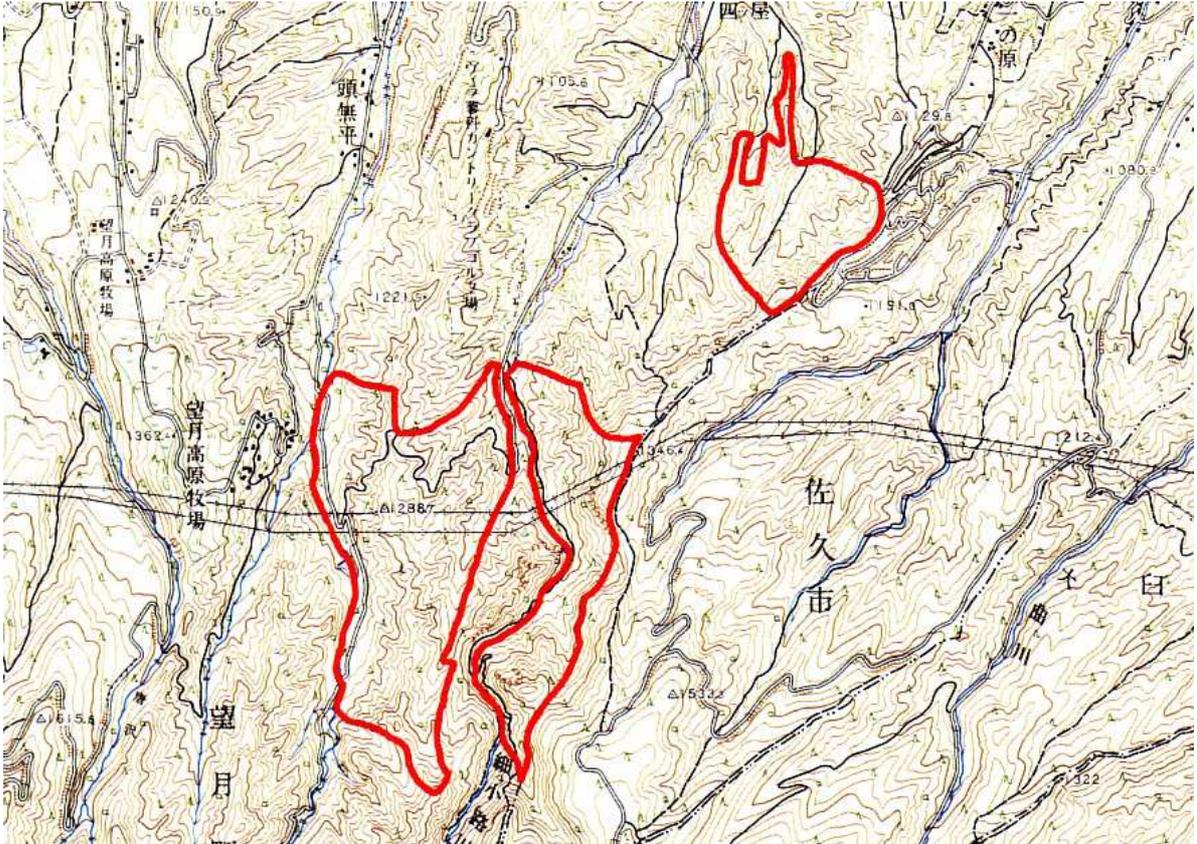


# 春日県有林



この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図（小諸、蓼科山）を使用したものである。

## <沿革>

春日県有林は佐久市（旧望月町）の南西にあり、蓼科山に源を発する鹿曲川と細小路川に沿って分布する県有林で、標高1,000mから1,440mに位置しています。

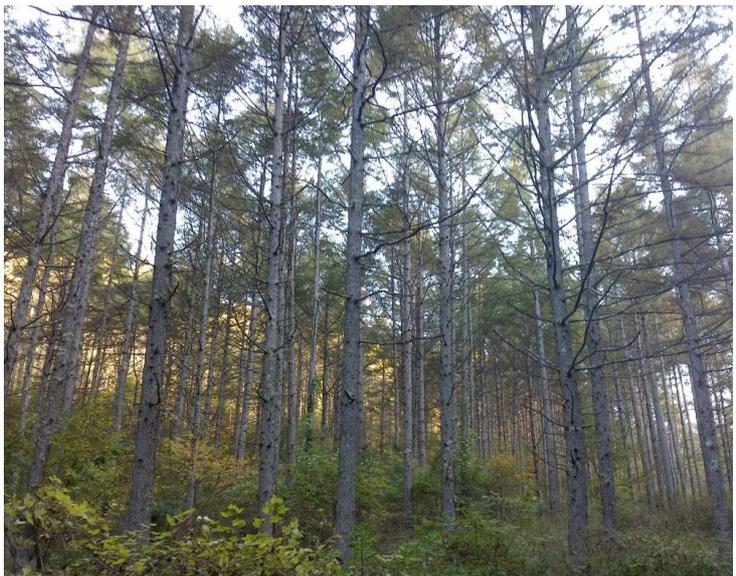
明治38年12月26日、本県で2番目に創設されました。かつては入会地として利用された山で、購入当時はそのほとんどが未立木地でした。

## <現況・特色>

大半がカラマツの造林地ですが、細小路川沿いには大面積にわたりサワラやドイツトウヒが植栽されています。

また、林道密度が26.6m/haと県有林の中でも比較的高く、搬出間伐・主伐時に十分対応できる路網基盤を持ち合わせています。今後は重点的に木材生産を行っていく林分を中心に、高密度路網となる基盤整備づくりを進め、森林資源のさらなる有効活用を目指します。

また、数年前からカラマツに対するシカの角こすりが目立つようになったことから、成長の状況を把握しつつ、今後の施業についての検討を進めます。



### <森林整備の方向>

路網が比較的整備されていることから、傾斜が緩い林分では効率的木材生産型施業、傾斜が急な林分では帯状伐採を中心に、主伐による木材利用を積極的に展開します。主伐後はカラマツの再造林を行います。

路網から離れ、傾斜が急な林分は、針広混交林化による公益的価値の高い森林を目指します。

### <樹種別資源構成>

単位：ha

面積	スギ	アカマツ	ヒノキ・ナワラ	カラマツ	その他針	その他広	空地・保残等
394.66		17.79	28.47	260.52	6.41	12.3	69.17
100%		5%	7%	66%	2%	3%	18%



### <齢級別資源構成>

